

第79回 院内コンサート

♪♪ 演奏者プロフィール ♪♪

さいとう よう

ハープ奏者：齋藤 葉さん



東京藝術大学卒業。同大学院修了。ローザンヌ音楽院に留学。日本ハープコンクール第2位。ソロ、オーケストラ、スタジオ録音、放送など幅広い場での演奏活動を行う。

クラシックのみならず、一貫フリーランス奏者として、新しい演奏形態や作品の創造にも取り組む。

2018年はジャズやロックの壮大な公演にも参加した。CDアルバムは、ユニバーサルなどメジャーレーベルより数作、自らのレーベルより数作発表。(社)日本青年会議所よりTOYP大賞。祭典的シリーズ「ハープの未来」を主宰、日本を代表するハーピストのひとりとして、日本ハープコンクール審査員や全日本高等学校吹奏楽大会審査員。日本ハープ協会理事。作曲家としてJASRAC準会員。横浜音楽文化協会会員。



＜プログラム＞

- モーツァルト フルートとハープのための協奏曲
KV299 ハ長調より 第1楽章
ムチェデロフ パガニーニの主題 (カプリス24番)
による変奏曲 齋藤葉
パガニーニ「ラ・カンパネラ」による幻想曲 (初演)
齋藤葉 ガイアの翼 (2018年)

日時：平成31年1月19日(土) 13時30分～
場所：亀田病院 新館待合ホール

協力：横浜音楽文化協会

第79回 院内コンサート

プログラム(曲目解説)

<解説>

モーツァルト「フルートとハープのための協奏曲」

ハープ一人で演奏しますが、フルート奏者とオーケストラが20人ほど弾いているかのようなカラオケに合わせて、の演奏となります。新年に相応しい格調高い音楽です。パガニーニのヴァイオリン作品を主題とする、ハープ作品を2曲演奏します。

ムチェデロフ

この作品だけが知られているロシア人で、ハープの楽曲の中で、代表的な大曲難曲の一つとなっています。そして、本公演を目標に、斎藤葉自身が、新たに作り直した、「ラ・カンパネラ」によるハープのための幻想曲、をお楽しみになさってください。パガニーニのヴァイオリン協奏曲第2番第3楽章をもとに、編曲いたしました。

「ガイアの翼」

歌とハープによる歌曲です。これもカラオケですが、歌がカラオケに入っており歌手はおりません、ハープのための逆カラオケです。老若男女どんな方にも共感頂ける希望に満ちた美しい日本語の歌詞(Dew 作詞・歌唱)とハープのコラボをお楽しみください。

